アフターサービス

1. 保証書
保証書は必ず「お買い上げ年月日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取って頂き、内容をよくお読みの上、大切に保管して下さい。
付属のアンケートハガキはお手数ですがご返送願います。（切手不要）

2. 保証期間中の修理
保証期間中は内部機構を触らずに、お買い上げの販売店にご相談下さい。保証書の記載内容により、無償修理致します。

3. 保証期間が過ぎている時は
保証期間が過ぎている時は、お買い上げの販売店にご相談下さい。修理により使用出来る場合は、お客様のご要望により有償修理致します。

4. 修理依頼される時は
修理を依頼される時は、下記の事項を確認しお買い上げの販売店又は、弊社にご相談下さい。
①商品名、品番、シリアルNo.
②故障の内容（どの様な症状なのか、いつ頃から等出来る限り具体的に詳しくお知らせ下さい。）
③お買い上げ年月日及び販売店
④お客様のお名前、ご住所連絡先等

5. アフターサービスについてご不明な場合
修理サービスや商品についてのご相談は、お買い上げの販売店又は、弊社にご相談下さい。
※故障・誤動作により本製品が使用出来なかった事による付随的損害（代品貸し出し等も含む）の保証につきましては弊社は一切の責任を負いかねますので予めご了承下さい。

6. 無償保証規定
①本製品は高度な品質管理を行っておりますが、保証期間中に取扱説明書等の注意に従った使用状態で万一故障した場合には保証規定に従い、無償にて交換又は、修理させて頂きますのでお買い上げの販売店又は、弊社まで保証書を添えてお申し出下さい。
※保証書の無い場合には保証対象外となりますのでご了承下さい。
②保証期間内であっても次の様な場合には有償になります。
・保証書の掲示が無い場合又は、保証記載内容に不備のある場合。
・商品取扱上の誤り、不注意による故障及び、損傷。
・不当な修理及び改造による故障及び、損傷。
・事故による故障及び、損傷。
・自然災害による故障及び、損傷。
・消耗品の交換（付属品等）。
・保証書にお買い上げ年月日、販売店名等の所定の記入事項の無い場合又は、文字を書き換えられた場合。
・故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合。
③保証規定は日本国内において国産車取付時のみ有効です。
（This warranty is valid only in Japan.）
④その他ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店又は、弊社にお問い合わせ下さい。

製造･販売元
フジ電機工業株式会社
http://www.fuji-denki.co.jp
本　　社：〒534-0025　大阪市都島区片町1丁目6番16号
TEL　06-6358-4409㈹　FAX　06-6358-1880
春 日 工 場：〒669-4132　兵庫県丹波市春日町野村530
(ISO9001取得) TEL　0795-74-2177　　FAX　0795-74-2187

REV.2-280411

AUTO DOOR MIRROR CONTROLLER
オートドアミラーコントローラー

取扱説明書

この度はブルコンオートドアミラーコントローラーをご購入して頂き、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分に活用して頂く為に取扱説明書をお読みになり、ご理解頂いた上で、正しくお使い下さい。
この取扱説明書は必ず大切に保管して下さい。

格納スイッチタイプ

必ず車両のドアミラーの格納スイッチタイプをご確認の上、配線及び取り付けを行って下さい。

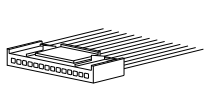
A タイプ	ワンプッシュ式	スイッチを押すと戻るタイプ
B タイプ	ツープッシュ式	スイッチを押すと戻らず、再度押すと戻るタイプ（2 本線制御）
C タイプ	シーソー式	スイッチを左右に倒すタイプ 又は、中立のあるタイプ
D タイプ	ツープッシュ式	スイッチを押すと戻らず、再度押すと戻るタイプ（1 本線制御）

※D タイプは別売りのリレーユニットタイプⅠ（MR-30　税込￥3,150）が必要です。
（クラウン 170 系・アリスト 160 系　等）

はじめに
● 必ずお読み下さい ····· 1
● 取り付けの前に ····· 2
ADL・11 リモコンキー連動
● 各部名称及び配線概要 ····· 3
● A タイプ配線方法 ····· 4
● B・C タイプ配線方法 ····· 5
● D タイプ配線方法 ····· 6
● 共通配線方法① ····· 7
● 共通配線方法② ····· 8
● 作動確認 <システム電源 ON・OFF 設定> 等 ··· 9
● トラブルシューティング ··· 10
ADK・98 ACC 連動
● 各部名称及び配線概要 ····· 11
● A タイプ配線方法 ····· 12
● B・C タイプ配線方法 ····· 13
● D タイプ配線方法 ····· 14
● 共通配線方法① ····· 15
● 共通配線方法② ····· 16
● 作動確認 <システム電源 ON・OFF 設定> 等 ··· 17
● トラブルシューティング ··· 18

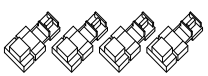
商品付属構成

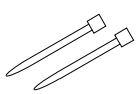
メインユニット


メインハーネス
（ADL-11 は 14 ピンコネクタ
ADK-98 は 12 ピンコネクタ）

付属スイッチ

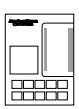
両面テープ

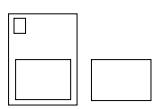

分岐タップ　×　4


インシュロック　×　2

延長線

コードハンガー


取扱説明書


アンケートハガキ・保証書
（保護シール付き）

Bullcon

必ずお読み下さい

この取扱説明書には、本製品を安全にご使用頂き、お客様や取り付け時の危害や損害を未然に防止する為に、色々な注意事項を表示しております。又、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を「警告」・「注意」の２つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守り下さい。その表示内容は下記の様になっております。内容をよくご理解の上、本文をお読み下さい。

警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡又は、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警告

以下の警告文を無視し、使用を続けますと火災・故障・事故の原因となります。

- ▼ 本製品を分解したり、加工・改造等しないで下さい。
- ▼ 本製品の取り付けを行う際は電源の極性（＋・ー）を間違えない様ご注意下さい。
- ▼ 電源コードを傷付けたり、無理な曲げ、ねじり、引っ張りや加熱加工等加えないで下さい。
- ▼ 本製品は DC+12V・マイナスアース車専用です。指定以外の電圧では使用しないで下さい。
- ▼ 本製品の取り付けを行う際は電源側（+12V）のコードが車体の金属部分に触れない様ご注意下さい。
- ▼ 本製品に水が入らない様にして下さい。万一水が入った場合は、電源を抜き速やかにご購入店へご連絡下さい。
- ▼ 本製品から煙が出たり異臭・異音がする場合、本製品の使用を中止し直ちに電源を抜き安全確認の上、修理をご依頼下さい。
- ▼ 本製品の配線、取り付け及び使用方法を誤ると車両の装置、機器類を破損又は、損傷する恐れがあります。

⚠ 注意

以下の注意文を無視し、使用を続けますと誤作動・故障の原因となります。

- ▼ 本製品は違法改造車及び整備不良車等へ取り付けしないで下さい。
- ▼ 本製品の取り付けを行う際は他機器に影響を与えない場所に設置して下さい。
- ▼ 過度の熱や水等が本製品に影響を与えそうな場所への設置はしないで下さい。
- ▼ 本製品の取り付けを行う際はメインユニット及び付属スイッチは確実に固定して下さい。
- ▼ 本製品は国産車のみ対応しており、輸入車（正規輸入・並行輸入問わず）や逆輸入車へのサポート及び保証は一切行っておりませんので予めご了承下さい。
- ▼ 本製品の誤った取り付け及び使用方法による事故等に関しましては、当社では一切責任を負いませんので予めご了承下さい。
- ▼ 本製品のメインハーネスを抜き差しする際は必ずコネクタを持って作業を行って下さい。コードを引っ張るとコードが傷付き、ショートする恐れがあります。
- ▼ 車両のバッテリーが弱っていたり、車両に異常がある場合、本製品を使用しないで下さい。車両機器及び本製品に影響を与える恐れがあります。

取り付けの前に

- ▼ 本製品を取り付けする際、車両側の配線を検出する時は必ずサーキットテスターを使用し、検電器は絶対に使用しないで下さい。万一、取り付けする際に検電器を使用された場合、車両側の制御機器等に異常又は、破損や故障等が起こりましても弊社は一切の責任を負いかねますので予めご了承下さい。

サーキットテスター

検電器

- ▼ ホンダ車の一部で格納スイッチが A タイプの車両でドアミラーの開閉線が格納スイッチ裏側ではなく運転席ドア内パワーウインドウスイッチ裏側にあり B・C タイプの配線になる場合がありますので取り付けの際はご注意下さい。
- ▼ 配線方法図中の × 部分は切断して頂き、●部分及び常時電源線・ACC 信号入力線等は結線後、必ずビニールテープ等で絶縁処理を行って下さい。又、配線しない線も必ずビニールテープ等で絶縁処理を行って下さい。
- ▼ 配線方法図中の線色の指示部分で「又は」と表記されている部分は必ずどちらか 1 本だけ配線して頂き、２本共配線する様な事は絶対にしないで下さい。
- ▼ ADL-11（リモコンキー連動）の場合、キー検出信号入力線を配線しなかった場合、走行中にドアロックされるとドアミラーが格納されてしまい、走行上大変危険ですので必ず配線を行って下さい。
- ▼ メインユニットのディップスイッチ設定を変更する際は必ずメインハーネスを引き抜いてから設定変更を行い、設定変更後にメインハーネスを差し込んで下さい。

ー　パワーウインドウシステムのリセットについて　ー

本製品の取り付けの際、パワーウインドウユニットの制御ハーネスを引き抜く場合があります。この場合、下記メーカー車両の一部はパワーウインドウのオート機能が働かなくなる恐れがありパワーウインドウユニットのリセットを行う必要があります。又、バッテリーを抜かれても同様の症状が発生する場合もありますのでリセットを行って下さい。

・操作は該当するドアのパワーウインドウスイッチで行って下さい。
・同時に複数のリセット操作は行えません。
・長時間スイッチ操作を行うと車両保護の為窓ガラスが動かなくなり一時的にオート作動が働かなくなる場合がありますのでこの場合は、しばらく時間を置いてから再度リセット操作を行って下さい。

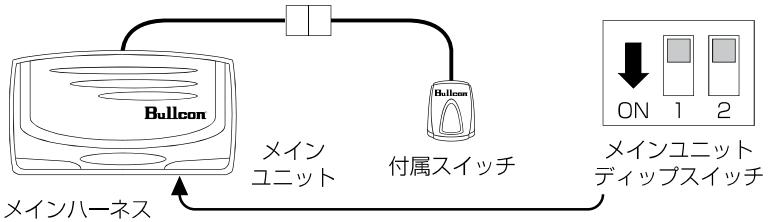
＜TOYOTA 車＞

①パワーウインドウスイッチを押し、窓ガラスを 1/4 以上下げます。
②パワーウインドウスイッチを引き続け窓ガラスを全閉状態にし、そのまま 1 秒以上スイッチを引いた状態にします。
③パワーウインドウスイッチから手を放した時に窓ガラスが下がらない事を確認して下さい。下がる場合はパワーウインドウユニットの制御ハーネスを引き抜いて 10 秒以上経過してから再度差し込んだ後上記①～②の作業を行って下さい。
④上記①～③の作業を行ってもリセットされない場合は、パワーウインドウスイッチを引き、窓ガラス全閉後もスイッチを 12 秒間引き続けて下さい。

＜HONDA 車＞

①エンジンを始動し、パワーウインドウスイッチで窓ガラスを全開にします。
②パワーウインドウスイッチで窓ガラスを全閉にし、そのまま３秒間維持します。

ADL-11　各部名称及び配線概要



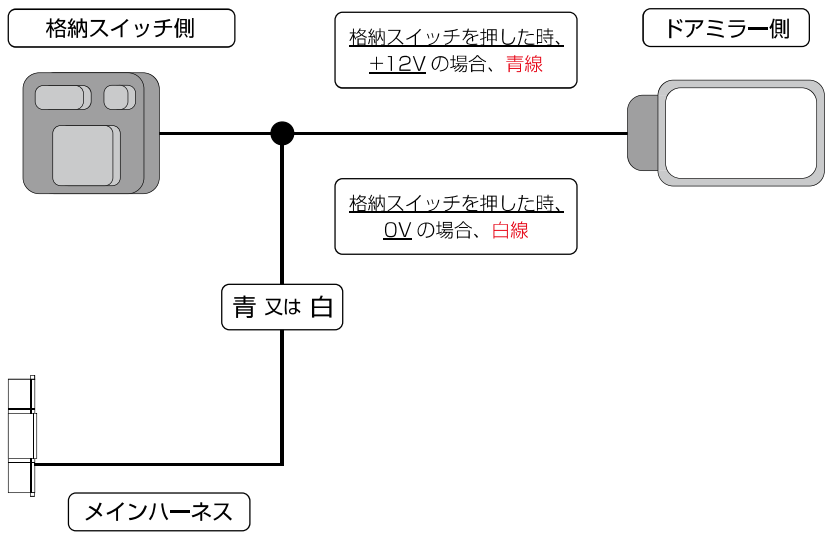
若葉	ドアロック信号入力線 ドアロック線に接続	
若葉 / 白	ドアアンロック信号入力線 ドアアンロック線に接続	
紫	使用しません 弊社製品ロック DA 錠又は、セキュリティ OP ドアロックユニットを SELECT1 で取り付けされている場合に接続 （紫線は緑線へ、紫 / 白線は青線へ接続）	
紫 / 白		
水色	格納スイッチ D タイプのみ使用 別売りリレーユニットタイプⅠ （MR-30　税込￥3,150）に接続	
茶	キー検出（＋）信号入力線 キー検出（＋）信号線に接続	どちらか一方の配線になります
茶 / 白	キー検出（－）信号入力線 キー検出（－）信号線に接続	
緑	ドアミラー「閉」信号入力線 格納スイッチ側「閉」線に接続	
青	ドアミラー「閉」信号出力線 ドアミラー側「閉」線に接続	格納スイッチのタイプによって配線方法が異なります
黄	ドアミラー「開」信号入力線 格納スイッチ側「開」線に接続	
白	ドアミラー「開」信号出力線 ドアミラー側「開」線に接続	
黒	ボディーアース線 ボディーアースに接続	
赤	常時電源線 常時電源線に接続	

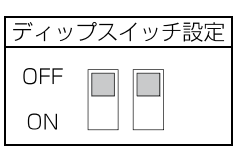
ADL-11 格納スイッチ A タイプ 配線方法

エンジンキーを OFF⇒ACC の位置に回し、格納スイッチ裏のコネクタ内から格納スイッチを押しドアミラー開閉時で通常時と異なる電圧が出力する線をサーキットテスターで探します。

格納スイッチを押した時、＋12V に電圧変化する場合、青線を接続
格納スイッチを押した時、0V に電圧変化する場合、白線を接続

エンジンキーを ACC⇒OFF に回し格納スイッチからコネクタを引き抜き上記で確認した線を接続して下さい。





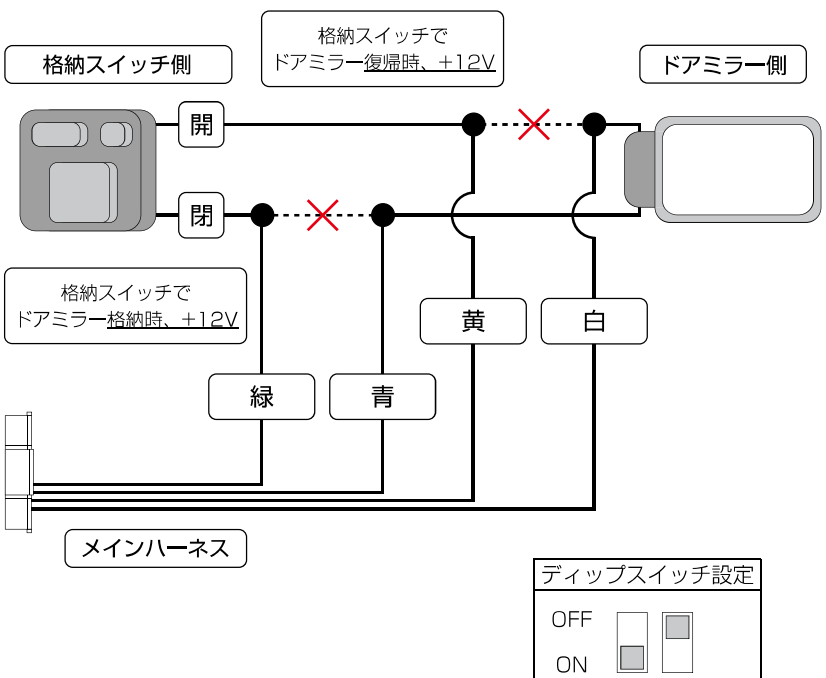
引き続き共通配線方法（P7 ～ P8）へお進み下さい

ADL-11 格納スイッチ B・C タイプ 配線方法

エンジンキーを OFF⇒ACC の位置に回し、格納スイッチ裏のコネクタ内から格納スイッチを押しドアミラー開閉時でそれぞれ異なる電圧が出力する線をサーキットテスターで探します。

格納スイッチを押しドアミラーを格納させた時、+12V に電圧変化する線を切断しドアミラースイッチ側に緑線、ドアミラー側に青線を接続
格納スイッチを押しドアミラーを復帰させた時、+12V に電圧変化する線を切断しドアミラースイッチ側に黄線、ドアミラー側に白線を接続

エンジンキーを ACC⇒OFF に回し格納スイッチからコネクタを引き抜き上記で確認した線をそれぞれコネクタから約 10 ㎝の所で切断し接続して下さい。



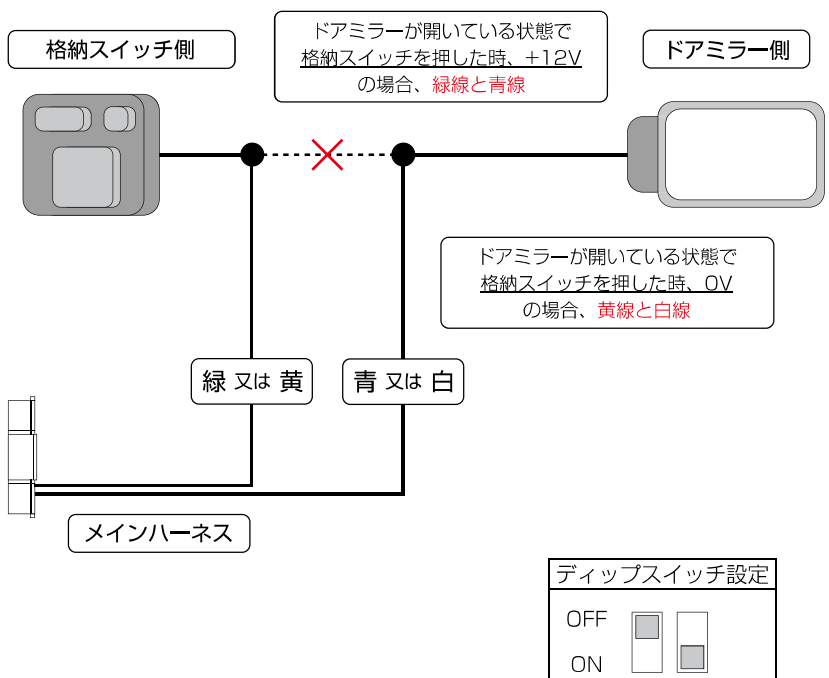
引き続き共通配線方法（P7 ～ P8）へお進み下さい

ADL-11 格納スイッチ D タイプ 配線方法

エンジンキーを OFF⇒ACC の位置に回し、格納スイッチ裏のコネクタ内から格納スイッチを押しドアミラー開閉時で異なる電圧が出力する線をサーキットテスターで探します。

ドアミラーが開いている状態で格納スイッチを押した時、+12V に電圧変化する場合、この線を切断しドアミラースイッチ側に緑線、ドアミラー側に青線を接続
ドアミラーが開いている状態で格納スイッチを押した時、0V に電圧変化する場合、この線を切断しドアミラースイッチ側に黄線、ドアミラー側に白線を接続

エンジンキーを ACC⇒OFF に回し格納スイッチからコネクタを引き抜き上記で確認した線をコネクタから約 10 ㎝の所で切断し接続して下さい。

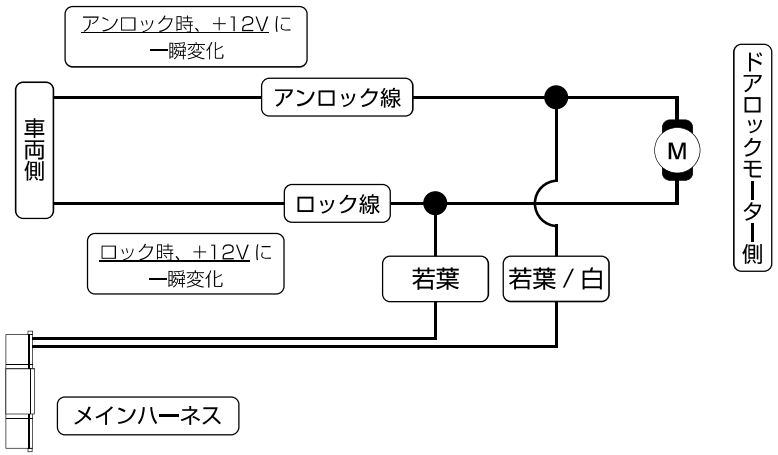


引き続き共通配線方法（P7 ～ P8）へお進み下さい

ADL-11 共通配線方法①

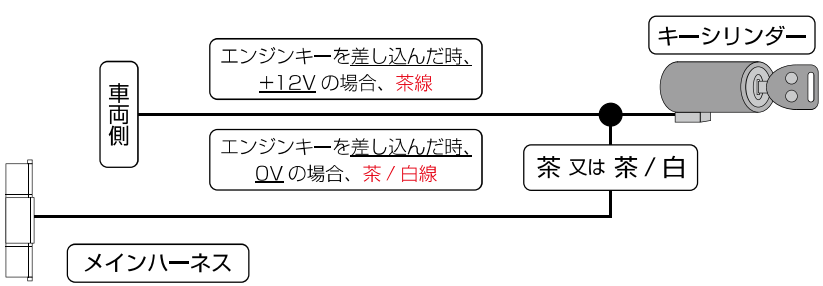
①運転席足元コネクタ内又は、運転席ドア内のドアロックモーターからドアをロック・アンロックした時に一瞬電圧変化する線をサーキットテスターでそれぞれ探します。

ロック時、+12V に一瞬電圧変化する線に若葉線を接続
アンロック時、+12V に一瞬電圧変化する線に若葉 / 白線を接続



②ステアリングコラムカバー内のキーシリンダー付近でエンジンキーをキーシリンダーへ抜き差しした時に電圧変化する線をサーキットテスターで探します。

エンジンキーを差し込んだ時、+12V に電圧変化する場合、茶線を接続
エンジンキーを差し込んだ時、0V に電圧変化する場合、茶 / 白線を接続



※エンジン始動・停止がプッシュボタン式の車両の場合、キー検出信号線がありませんので ACC 線又はイグニッション線（エンジンキーが OFF の位置で 0V、ACC 又は ON の位置で +12V の電圧が出力されている線）に茶線を接続して下さい。

ADL-11 共通配線方法②

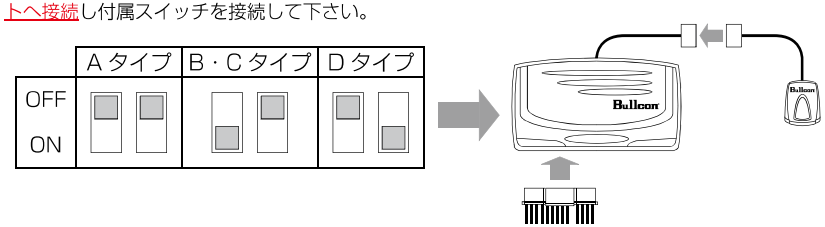
③車両のボディーアース（塗装されていない金属部分のボルト）に単独で黒線を接続します。

④車両の太めの常時電源線（エンジンキーがどの位置でも +12V の電圧が出力されていて電流値が大きい線）をサーキットテスターで探し、赤線を接続します。

⑤ドアミラースイッチが D タイプの車両の場合、別売りのリレーユニット タイプⅠ（MR-30 税込価格￥3150）に水色線を接続します。

タイプ別設定の確認

メインユニットのディップスイッチ設定を行います。ドアミラーのスイッチタイプによって設定が異なりますので該当するスイッチタイプの設定に変更してからメインハーネスをメインユニットへ接続し付属スイッチを接続して下さい。



ドアミラースイッチが A タイプの車両の場合、下記の設定も行って下さい。
①アンロック時にエンジンキーを抜いた状態で付属スイッチを押しながら 3 秒以内にロックを行います。
②付属スイッチの LED が 5 回点滅すると設定完了です。

※設定後にバッテリー又はメインハーネスを外された場合、初期化されますのでこの場合は再度設定を行って下さい。

引き続き作動確認（P9）へお進み下さい

ADL-11　作動確認

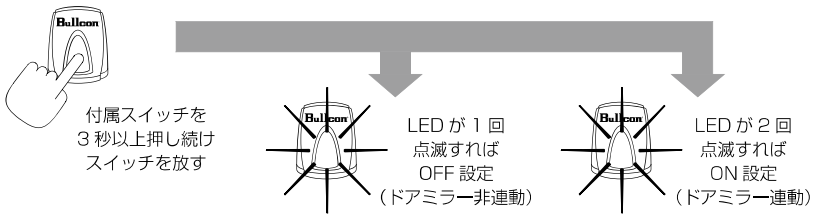
ドアミラーを
開けた状態にし、
エンジンキーを抜く

ロックした時に
ドアミラーが連動して
格納する事を確認

アンロックした時に
ドアミラーが連動して
復帰する事を確認

又、エンジンキーを差し込んだ状態でロック・アンロックした時にドアミラーが連動しない事も確認して下さい。

＜システム電源 ON・OFF 設定＞　※初期設定（工場出荷時）は ON 設定



付属スイッチを
３秒以上押し続け
スイッチを放す

LED が１回
点滅すれば
OFF 設定
（ドアミラー非連動）

LED が２回
点滅すれば
ON 設定
（ドアミラー連動）

＜こんな時は・・・＞

スイッチタイプが B・C タイプの車両（一部ダイハツ車等）でドアミラーが片側だけ開く又は、途中で止まってしまう場合は下記の設定を行い、格納スイッチを復帰の位置にして下さい。

ドアミラーを
開けた状態にし、
エンジンキーを抜く

ロック後
付属スイッチを
３秒間押す

LED が
３回点滅すると
設定完了

B・C・D タイプの車両で**ドアミラーの復帰をアンロック時ではなく ACC 連動にしたい場合**、上記同様の設定を行う事で格納スイッチが復帰の位置であればエンジンキーを ACC の位置にするとドアミラーが開きます。

設定を解除する場合は上記同様の操作を行って下さい。（この場合は LED が８回点滅します。）

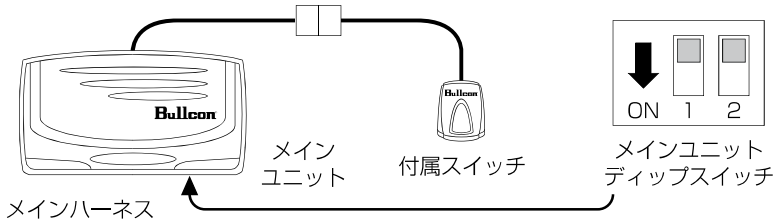
※付属スイッチから ３ 秒未満で指を放された場合、設定は反映されません。又、付属スイッチを押し続けている間は３秒毎に設定の ON・OFF が繰り返します。
※設定後にバッテリー又はメインハーネスを外された場合、初期化されますのでこの場合は再度設定を行って下さい。

ADL-11　トラブルシューティング

修理を依頼される前に下記の点検・確認をお願い致します。

症　状	原　因	解決方法
格納スイッチでドアミラーが作動しない（各タイプ）	配線が間違っている又は、断線している	配線方法を参照し、各配線が正しく接続されているか確認して下さい
	メインハーネスが抜けている	コネクタが確実にロックする様接続して下さい
	取り付け時に車両側コネクタを外したままになっている	車両側コネクタの接続を確認して下さい
付属スイッチを押しても LED が点滅しない（各タイプ）	配線が間違っている又は、断線している	配線方法を参照し、各配線が正しく接続されているか確認して下さい
	付属スイッチ又は、メインハーネスが抜けている	コネクタが確実にロックする様接続して下さい
付属スイッチの LED が高速点滅し続ける（各タイプ）	ロック・アンロック線の配線が間違っている	配線方法を参照し、各配線が正しく接続されているか確認して下さい
	エンジン始動時に常時電源の電圧が降下している	常時電源線の配線箇所を変更して下さい
ドアロック・アンロックしてもドアミラーが連動しない（各タイプ）	配線が間違っている又は、断線している	配線方法を参照し、各配線が正しく接続されているか確認して下さい
	メインハーネスが抜けている	コネクタが確実にロックする様接続して下さい
	取り付け時に車両側コネクタを外したままになっている	車両側コネクタの接続を確認して下さい
	システム電源が OFF になっている	システム電源を ON にして下さい
	エンジンキーがキーシリンダーに差し込まれている	エンジンキーを抜いて下さい
	別売りリレーユニットが取り付けされていない（D タイプのみ）	リレーユニットタイプⅠ（MR-30 税込￥ 3,150）をご購入の上、取り付けを行って下さい
	別売りリレーユニットの配線が間違っている（D タイプのみ）	リレーユニット及び本製品の配線方法を参照し、各配線が正しく接続されているか確認して下さい。
アンロック時にドアミラーが片側だけ開く又は、途中で止まってしまう（B・C タイプのみ）	メインユニットのディップスイッチ設定が間違っている	スイッチタイプに合った設定を行って下さい
	特殊な車両（一部ダイハツ車等）である	アンロック時に連動する事は出来ませんので＜こんな時は・・・＞を参照し、設定を行って下さい
作動時にドアミラーが開閉を繰り返す（各タイプ）	ロック・アンロックの配線が逆になっている	配線方法を参照し、各配線が正しく接続されているか確認して下さい
	キー検出信号入力線の配線が間違っている	配線方法を参照し、配線が正しく接続されているか確認して下さい
	メインユニットのディップスイッチ設定が間違っている（A タイプのみ）	スイッチタイプに合った設定を行って下さい
走行中ロックするとドアミラーが閉じてしまう（各タイプ）	キー検出信号入力線が配線されていない	配線方法を参照し、配線が正しく接続されているか確認して下さい

ADK-98　各部名称及び配線概要



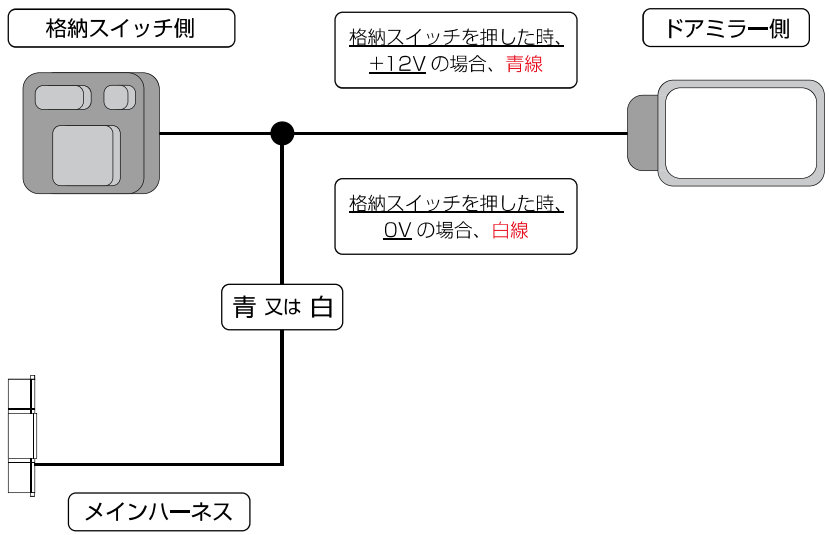
橙	ACC（イグニッション）信号入力線 ACC 線又はイグニッション線に接続	
水色	ドアミラースイッチ D タイプのみ使用 別売りリレーユニットタイプⅠ （MR-30　税込￥3,150）に接続	
茶	キー検出（＋）信号入力線　（任意配線） キー検出（＋）信号線に接続	どちらか一方の配線になります
茶 / 白	キー検出（－）信号入力線　（任意配線） キー検出（－）信号線に接続	
緑	ドアミラー「閉」信号入力線 格納スイッチ側「閉」線に接続	
青	ドアミラー「閉」信号出力線 ドアミラー側「閉」線に接続	格納スイッチのタイプによって配線方法が異なります
黄	ドアミラー「開」信号入力線 格納スイッチ側「開」線に接続	
白	ドアミラー「開」信号出力線 ドアミラー側「開」線に接続	
黒	ボディーアース線 ボディーアースに接続	
赤	常時電源線 常時電源線に接続	

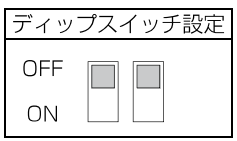
ADK-98 格納スイッチ A タイプ 配線方法

エンジンキーを OFF⇒ACC の位置に回し、格納スイッチ裏のコネクタ内から格納スイッチを押しドアミラー開閉時で通常時と異なる電圧が出力する線をサーキットテスターで探します。

格納スイッチを押した時、＋12V に電圧変化する場合、青線を接続
格納スイッチを押した時、0V に電圧変化する場合、白線を接続

エンジンキーを ACC⇒OFF に回し格納スイッチからコネクタを引き抜き上記で確認した線を接続して下さい。





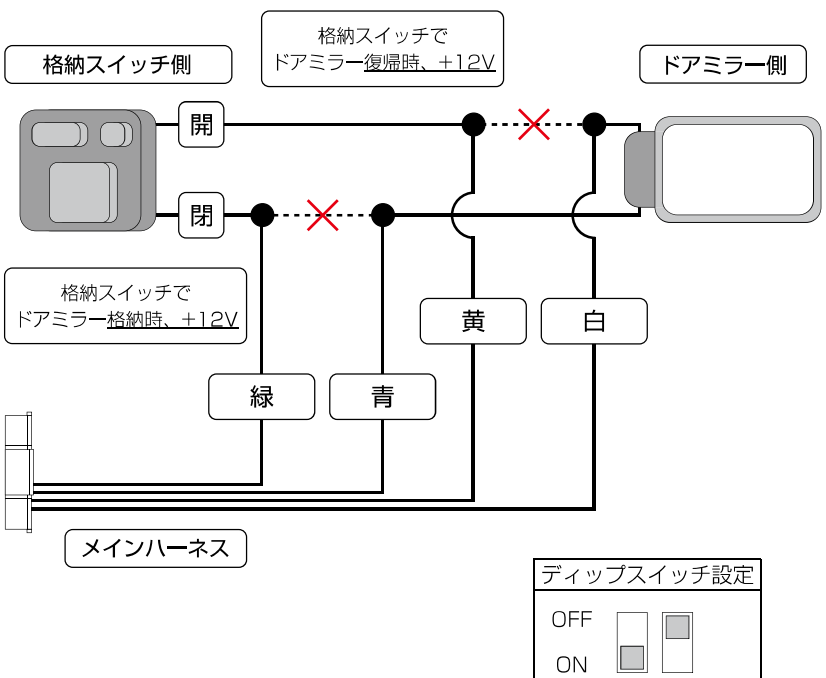
引き続き共通配線方法（P15 ～ P16）へお進み下さい

ADK-98 格納スイッチ B・C タイプ 配線方法

エンジンキーを OFF⇒ACC の位置に回し、格納スイッチ裏のコネクタ内から格納スイッチを押しドアミラー開閉時でそれぞれ異なる電圧が出力する線をサーキットテスターで探します。

格納スイッチを押しドアミラーを格納させた時、+12V に電圧変化する線を切断しドアミラースイッチ側に緑線、ドアミラー側に青線を接続
格納スイッチを押しドアミラーを復帰させた時、+12V に電圧変化する線を切断しドアミラースイッチ側に黄線、ドアミラー側に白線を接続

エンジンキーを ACC⇒OFF に回し格納スイッチからコネクタを引き抜き上記で確認した線をそれぞれコネクタから約 10 ㎝の所で切断し接続して下さい。



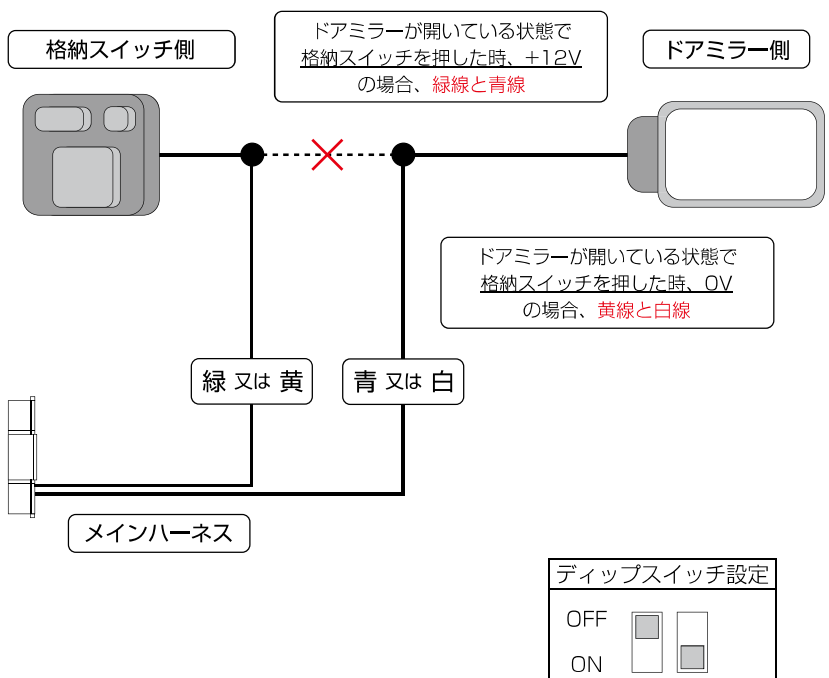
引き続き共通配線方法（P15 ～ P16）へお進み下さい

ADK-98 格納スイッチ D タイプ 配線方法

エンジンキーを OFF⇒ACC の位置に回し、格納スイッチ裏のコネクタ内から格納スイッチを押しドアミラー開閉時で異なる電圧が出力する線をサーキットテスターで探します。

ドアミラーが開いている状態で格納スイッチを押した時、+12V に電圧変化する場合、この線を切断しドアミラースイッチ側に緑線、ドアミラー側に青線を接続
ドアミラーが開いている状態で格納スイッチを押した時、0V に電圧変化する場合、この線を切断しドアミラースイッチ側に黄線、ドアミラー側に白線を接続

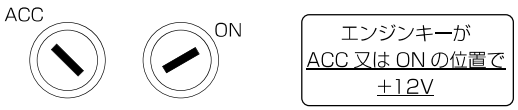
エンジンキーを ACC⇒OFF に回し格納スイッチからコネクタを引き抜き上記で確認した線をコネクタから約 10 ㎝の所で切断し接続して下さい。



引き続き共通配線方法（P15 ～ P16）へお進み下さい

ADK-98 共通配線方法①

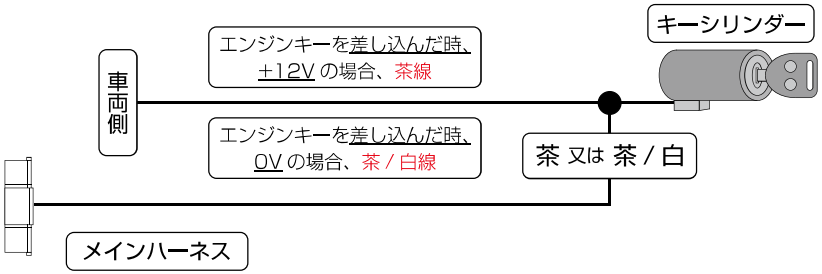
①車両の ACC 線又はイグニッション線（エンジンキーが OFF の位置で 0V、ACC 又は ON の位置で +12V の電圧が出力されている線）をサーキットテスターで探し、橙線を接続します。



②キー検出信号入力線の配線は任意配線です。通常配線のみの場合、エンジンを OFF にすると約 10 秒後にドアミラーが閉まります。エンジンキーを抜いてから約 10 秒後にドアミラーを閉めたい場合は下記配線方法に従い配線を行って下さい。配線されない場合は③へお進み下さい。

ステアリングコラムカバー内のキーシリンダー付近でエンジンキーをキーシリンダーへ抜き差しした時に電圧変化する線をサーキットテスターで探します。

エンジンキーを差し込んだ時、+12V に電圧変化する場合、茶線を接続
エンジンキーを差し込んだ時、0V に電圧変化する場合、茶 / 白線を接続



※エンジン始動・停止がプッシュボタン式の車両の場合、キー検出信号線がありませんので配線の必要はありません。

③車両のボディーアース（塗装されていない金属部分のボルト）に単独で黒線を接続します。

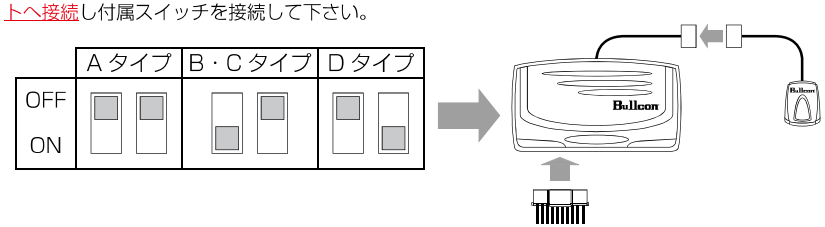
ADK-98 共通配線方法②

④車両の太めの常時電源線（エンジンキーがどの位置でも +12V の電圧が出力されていて電流値が大きい線）をサーキットテスターで探し、赤線を接続します。

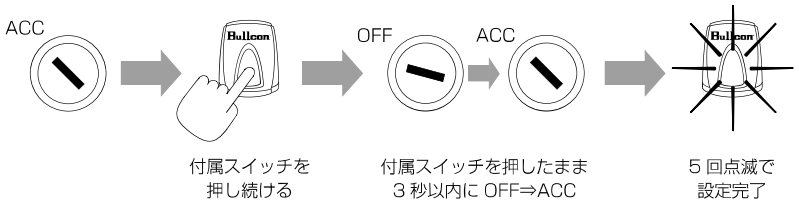
⑤ドアミラースイッチが D タイプの車両の場合、別売りのリレーユニット タイプⅠ（MR-30 税込価格￥3150）に水色線を接続します。

タイプ別設定の確認

メインユニットのディップスイッチ設定を行います。ドアミラーのスイッチタイプによって設定が異なりますので該当するスイッチタイプの設定に変更してからメインハーネスをメインユニットへ接続し付属スイッチを接続して下さい。



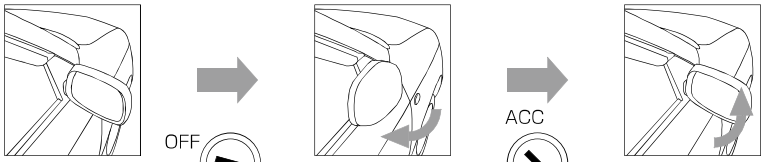
ドアミラースイッチが A タイプの車両の場合、下記の設定を行って下さい。
①エンジンキーを ACC の位置まで回し付属スイッチを押しながら 3 秒以内に OFF⇒ACC の位置に回します。
②付属スイッチの LED が 5 回点滅すると設定完了です。



※設定後にバッテリー又はメインハーネスを外された場合、初期化されますのでこの場合は再度設定を行って下さい。

引き続き作動確認（P17）へお進み下さい

ADK-98　作動確認



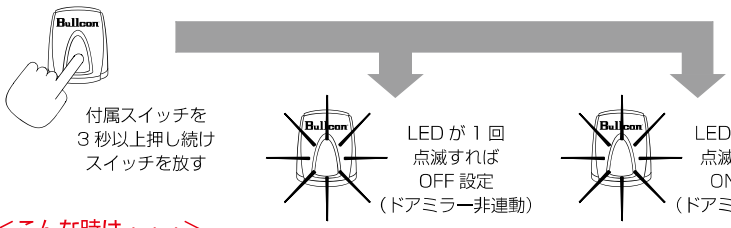
エンジンキーを ACC の位置にしてドアミラーを開けた状態にする

エンジンキーを OFF にした時、約 10 秒後にドアミラーが格納する事を確認

エンジンキーを ACC にした時にドアミラーが連動して復帰する事を確認

※キー検出信号入力線を配線されている場合は、エンジンキーを抜いてから約 10 秒後にドアミラーが格納する事を確認して下さい。

＜システム電源 ON・OFF 設定＞ ※初期設定（工場出荷時）は ON 設定



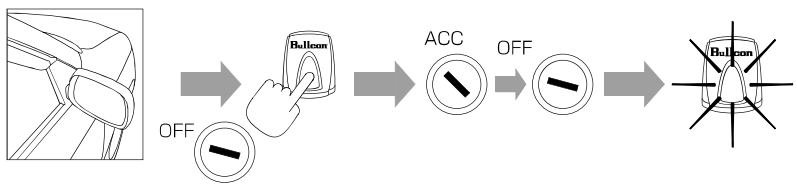
付属スイッチを 3 秒以上押し続けスイッチを放す

LED が 1 回点滅すれば OFF 設定（ドアミラー非連動）

LED が 2 回点滅すれば ON 設定（ドアミラー連動）

＜こんな時は・・・＞

スイッチタイプが B・C タイプの車両（一部ダイハツ車等）でドアミラーが片側だけ開く又は、途中で止まってしまう場合は下記の設定を行い、格納スイッチを復帰の位置にして下さい。



エンジンキーを ACC の位置にしてドアミラーを開けた状態にする

エンジンキーを OFF にした後、付属スイッチを押し続ける

付属スイッチを押したまま 3 秒以内に ACC⇒OFF

LED が 3 回点滅すると設定完了

※LED が 8 回点滅した場合、この設定は解除になります。この場合は再度設定を行って下さい。
※付属スイッチを 3 秒以上押された場合、システム電源 ON・OFF 設定になりますので LED の点滅回数は必ず確認して頂き、間違いの無い様設定を行って下さい。
※設定後にバッテリー又はメインハーネスを外された場合、初期化されますのでこの場合は再度設定を行って下さい。

ADK-98　トラブルシューティング

修理を依頼される前に下記の点検・確認をお願い致します。

症　状	原　因	解決方法
格納スイッチでドアミラーが作動しない（各タイプ）	配線が間違っている又は、断線している	配線方法を参照し、各配線が正しく接続されているか確認して下さい
	メインハーネスが抜けている	コネクタが確実にロックする様接続して下さい
	取り付け時に車両側コネクタを外したままになっている	車両側コネクタの接続を確認して下さい
付属スイッチを押しても LED が点滅しない（各タイプ）	配線が間違っている又は、断線している	配線方法を参照し、各配線が正しく接続されているか確認して下さい
	付属スイッチ又は、メインハーネスが抜けている	コネクタが確実にロックする様接続して下さい
付属スイッチの LED が高速点滅し続ける（各タイプ）	ACC が通電している状態でメインユニットにメインハーネスを接続している	エンジンキーを OFF の状態にしてから接続して下さい
	エンジン始動時に常時電源の電圧が降下している	常時電源線の配線箇所を変更して下さい
エンジンキーの位置を変えてもドアミラーが連動しない（各タイプ）	配線が間違っている又は、断線している	配線方法を参照し、各配線が正しく接続されているか確認して下さい
	メインハーネスが抜けている	コネクタが確実にロックする様接続して下さい
	取り付け時に車両側コネクタを外したままになっている	車両側コネクタの接続を確認して下さい
	システム電源が OFF になっている	システム電源を ON にして下さい
	キー検出信号入力線を配線している場合、エンジンキーがキーシリンダーに差し込まれている	エンジンキーを抜いて下さい
	別売りリレーユニットが取り付けされていない（D タイプのみ）	リレーユニットタイプⅠ（MR-30 税込￥ 3,150）をご購入の上、取り付けを行って下さい
	別売りリレーユニットの配線が間違っている（D タイプのみ）	リレーユニット及び本製品の配線方法を参照し、各配線が正しく接続されているか確認して下さい。
エンジンキーを ACC の位置にした時、ドアミラーが片側だけ開く又は、途中で止まってしまう（B・C タイプのみ）	メインユニットのディップスイッチ設定が間違っている	スイッチタイプに合った設定を行って下さい
	特殊な車両（一部ダイハツ車等）である	＜こんな時は・・・＞を参照し、設定を行って下さい
作動時にドアミラーが開閉を繰り返す（各タイプ）	メインユニットのディップスイッチ設定が間違っている（A タイプのみ）	スイッチタイプに合った設定を行って下さい